

The Lesson of Carthage

The Rise and Fall of a Merchant State

By Tetsuro Morimoto

The Lesson of Carthage

The Rise and Fall of a Merchant State

By Tetsuro Morimoto



ある通商国家の興亡

カルタゴの遺書

Over 2000 years ago, the tiny nation of Carthage dared to challenge the economic hegemony of the mighty Roman Empire. What lessons does this ancient drama from the Mediterranean have for us?

森本哲郎

〈著者略歴〉

森本哲郎（もりもと てつろう）

1925年、東京生まれ。東京大学文学部哲学科、同大学院社会学科卒。朝日新聞東京本社入社、学芸部次長、朝日新聞編集委員を経て、1976年退社。以後、評論、著述に専念。現在、東京女子大学教授（比較文化論）。

著書に、『そして文明は歩む』『信仰のかたち』『神の旅人——パウロの道を行く』（以上、新潮社）『神のアルバム』『戦争と人間』（以上、文藝春秋）『サハラ幻想行』（河出書房新社）『ことばへの旅 1～5』（角川文庫）など、多数がある。

ある通商国家の興亡

——カルタゴの遺書

1989年 6月 1日 第1版第1刷発行

1989年 9月18日 第1版第6刷発行

著 者 森 本 哲 郎

発行者 江 口 克 彦

発行所 P H P 研 究 所

東京事務所 03-239-6221

〒102 千代田区三番町 3 - 10

京都本部 075-681-4431

〒601 京都市南区西九条北ノ内町11

印刷所

製本所

大日本印刷株式会社

©Tetsuro Morimoto 1989. Printed in Japan

落丁・乱丁本の場合はお取り替えいたします。

ISBN4-569-52572-4



海の民カルタゴのドック跡(チュニジアの首都チュニス近郊)





カルタゴの通商基地モティアに造られた“海の道”(シチリア島西端)



カルタゴ・ビュルサの丘近くに並ぶ土産物の店(チュニス、シディ・ブ・サイード)



カーニバルでにぎわうスペインの港町カディス。ここはかつてカルタゴの重要な植民市だった

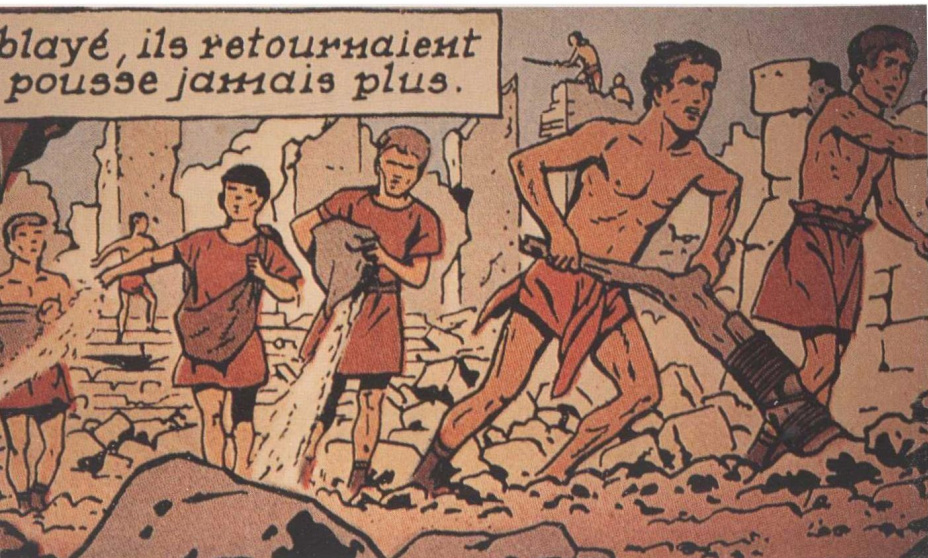


ハンニバルにならって雪のアルプスに象を連れ出してみた(アルプス山中サン・ティレール村で)



第二次ポエニ戦争でハンニバルがローマに大勝したカンネーの古戦場(イタリア南部)

blayé, ils retourneraient
poussée jamais plus.



ローマ軍はカルタゴの灰をかきわけて塩をまいた
(チュニスのカルタゴ博物館に展示されているパネルから)



カルタゴの墓標(チュニス)

ある通商国家の興亡*目次*

——カルタゴの遺書

富の試練

二千百三十一年ぶりの平和条約 21

盛者必衰のことわり 24

富の毒 30

そして、カルタゴへ 34

海の民

歴史の舞台は「海」 39

“海彦”になるか、“山彦”になるか 42

交易と外交の民 44

秘密厳守の鉄則 49

怪魚と怪獣の対決 54

リッアイアサン
ビレモス

商人の登場

欲求交換の“仲人” 59

ライバル

まず市場ありき	61
駆け引きの秘術	63
交易都市国家の誕生	67
手つとり早い取り引き	70
金に興る国は金に減ぶ	73

最初の舞台

灰だらけのロバ	77
何のための富か	81
経済のための政治	84
ふたつのライフ・スタイル	88
悲劇はシチリア島で始まった	95
海の中を行く馬車	99
掠奪された“宝島”	104

怪魚と怪獣の協定 108

ポエニ戦争

宿命の戦い始まる 113

ローマの決意 117

新兵器コルヴス 120

カルタゴ、攻勢に転ず 123

二十四年目の結末 126

ハンニバル

カルタゴの放れ業 133

あいまいな協定 140

戦争か平和か 143

エプロ河からピレネー山麓へ

そして、アルプス越え 148

145

運命の岐路

北イタリア制圧 151

終始変わらぬ筋書き 156

完敗したローマ 158

「戦士は祖国の名誉」 161

一挙に衝くか、慎重に構えるか 164

敗戦

ヌミディアの古都 169

ハンニバル対スキピオ 173

ドラマの始まり 175

平和交渉決裂す 180

苛酷な講和条約 184

ああ、戦後！ 187

奇跡の経済復興

「そして、これからが……」

189

敗戦国カルタゴの復活

194

戦勝国ローマの苦悩

198

何が福で、何が禍か

202

この国は滅ぼさねばならぬ

自決したハンニバル

207

一徹な男、カトー

209

ローマを救ったケンソル

213

ローマの二つの“敵”

218

デレンダ・エスト・カルタゴ

223

最期

猜疑から確信へ

227